



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 ITbook 株式会社

上場取引所 東

コード番号 3742 URL <http://www.itbook.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO

(氏名) 恩田 鏡

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山口 成一

TEL 03-6435-8711

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 964 | 56.8 | △175 | — | △167 | — | △171 | — |
| 25年3月期第3四半期 | 615 | — | △76 | — | △72 | — | △76 | — |

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △171百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △76百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 26年3月期第3四半期 | △10.81 | — |
| 25年3月期第3四半期 | △4.86 | — |

当社は、平成25年10月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|-----|---|-----|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 805 | — | 160 | — | 19.8 | — |
| 25年3月期 | 868 | — | 328 | — | 37.7 | — |

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 159百万円 25年3月期 327百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 1,800 | 57.5 | 80 | 136.2 | 88 | 101.2 | 76 | 138.0 | 4.82 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っているため、平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期3Q | 15,884,600 株 | 25年3月期 | 15,775,600 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期3Q | — 株 | 25年3月期 | — 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年3月期3Q | 15,857,506 株 | 25年3月期3Q | 15,694,753 株 |

(注)当社は、平成25年10月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした各種金融・経済政策により、企業業績や消費動向が改善するなど景気回復の兆しが見られるものの、新興国の経済停滞の影響が懸念されることもあり、力強さに欠ける状況が続きました。今後の成長戦略に基づく期待感はあるものの、当社グループが事業領域とする情報システム業界においては、顧客の情報システム投資に対するコスト意識は依然として厳しいものがあり、顕著な効果はまだ見られておりません。

しかし、当業界は「クラウドコンピューティング」や社会保障・税番号制度に象徴されるように変革期を迎えております。当社を取り巻く環境も、自治体クラウド推進機運の高まり、番号制度の創設、文字情報基盤の整備等大きく動き始めております。

このような環境のもと、当社グループは、成長力の高い企業集団を目指し、優秀な人材確保を積極的に進め、クラウド、番号制度等を中心にコンサルティングメニューの拡大、質的向上を図り、受注活動を進めてまいりました。

コンサルティング事業におきましては、官公庁、地方自治体、独立行政法人をはじめとした公共部門の主要な売上高が3月の連結会計年度末に集中する傾向があるため、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期とほぼ同水準で推移いたしました。

システム開発事業におきましては、コンサルティング事業とのシナジー効果を狙い、業務範囲の拡充と事業領域の拡大を積極的に進めました。また、当第3四半期連結累計期間には、動画配信、Webシステム開発を中心に事業展開をするシーエムジャパン株式会社およびマーケットデータシステム、外国為替関連開発に特化したフロント・アプリケーションズ株式会社を連結子会社といたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は964百万円（前年同四半期比 56.8%増）、営業損失は175百万円（前年同四半期は76百万円）、経常損失は167百万円（前年同四半期は72百万円）となりました。また、特別利益に、平成25年7月の事務所移転に伴う受取補償金10百万円等を計上しましたが、四半期純損失は171百万円（前年同四半期は76百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コンサルティング事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は266百万円（前年同四半期比 5.5%減）、セグメント損失は141百万円（前年同四半期は57百万円）となりました。

② システム開発事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は700百万円（前年同四半期比 110.2%増）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期は6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、805百万円（前連結会計年度末比63百万円減少）となりました。

これは主に、現金及び預金が52百万円、仕掛品が96百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が235百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、645百万円（前連結会計年度末比105百万円増加）となりました。

これは主に、買掛金が19百万円減少したものの、短期借入金が111百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、160百万円（前連結会計年度末比168百万円減少）となりました。

これは主に、四半期純損失171百万円の計上に伴う利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 161,903 | 214,068 |
| 受取手形及び売掛金 | 387,441 | 151,618 |
| 商品 | — | 1,268 |
| 仕掛品 | 2,113 | 99,029 |
| 貯蔵品 | 443 | 215 |
| その他 | 11,774 | 27,929 |
| 貸倒引当金 | △206 | △232 |
| 流動資産合計 | 563,468 | 493,896 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 10,715 | 17,380 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 219,731 | 208,532 |
| その他 | 5,247 | 12,521 |
| 無形固定資産合計 | 224,978 | 221,053 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 70,161 | 73,966 |
| 貸倒引当金 | △609 | △609 |
| 投資その他の資産合計 | 69,552 | 73,357 |
| 固定資産合計 | 305,246 | 311,791 |
| 資産合計 | 868,715 | 805,687 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 64,316 | 44,768 |
| 短期借入金 | 120,500 | 231,500 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 19,080 | 46,206 |
| 未払法人税等 | 13,788 | 11,403 |
| 賞与引当金 | 14,993 | 17,700 |
| 役員賞与引当金 | 1,750 | 2,700 |
| その他 | 149,481 | 121,513 |
| 流動負債合計 | 383,910 | 475,790 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 119,020 | 132,758 |
| その他 | 36,957 | 36,957 |
| 固定負債合計 | 155,977 | 169,715 |
| 負債合計 | 539,887 | 645,506 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 881,369 | 883,469 |
| 資本剰余金 | 151,299 | 153,399 |
| 利益剰余金 | △705,571 | △877,005 |
| 株主資本合計 | 327,096 | 159,863 |
| 新株予約権 | 1,731 | 153 |
| 少数株主持分 | — | 164 |
| 純資産合計 | 328,827 | 160,181 |
| 負債純資産合計 | 868,715 | 805,687 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 615,184 | 964,911 |
| 売上原価 | 390,964 | 706,173 |
| 売上総利益 | 224,220 | 258,738 |
| 販売費及び一般管理費 | 300,925 | 434,637 |
| 営業損失(△) | △76,705 | △175,898 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 60 | 89 |
| 受取出向料 | 4,325 | 9,500 |
| 助成金収入 | 252 | 12 |
| その他 | 120 | 1,936 |
| 営業外収益合計 | 4,759 | 11,538 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 218 | 3,217 |
| その他 | 6 | 58 |
| 営業外費用合計 | 224 | 3,275 |
| 経常損失(△) | △72,170 | △167,635 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 220 |
| 受取補償金 | — | 10,486 |
| 新株予約権戻入益 | 93 | — |
| 特別利益合計 | 93 | 10,706 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 200 | 1,863 |
| 本社移転費用 | — | 3,186 |
| 特別損失合計 | 200 | 5,049 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △72,276 | △161,977 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,036 | 9,550 |
| 法人税等合計 | 4,036 | 9,550 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △76,313 | △171,528 |
| 少数株主損失(△) | — | △95 |
| 四半期純損失(△) | △76,313 | △171,433 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △76,313 | △171,528 |
| 四半期包括利益 | △76,313 | △171,528 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △76,313 | △171,433 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | △95 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において四半期純損失を171,433千円計上したことなどにより、株主資本の金額は、前連結会計年度に比して167,232千円減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|----------------|--------------|---------|---------|--------------|--------------------------------|
| | コンサルティング 事業 | システム開発事 業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 281,984 | 333,200 | 615,184 | 615,184 | — | 615,184 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 281,984 | 333,200 | 615,184 | 615,184 | — | 615,184 |
| セグメント利益又は 損失(△) | △57,638 | 6,172 | △51,465 | △51,465 | △25,239 | △76,705 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△25,239千円には、セグメント間取引消去5,522千円、のれん償却額△30,762千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成24年5月30日に東京アプリケーションシステム株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、第1四半期連結会計期間において、のれんが263,677千円増加しております。

なお、当該のれんの償却額は報告セグメントに配分しておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|----------------|--------------|----------|----------|--------------|--------------------------------|
| | コンサルティング 事業 | システム開発 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 266,414 | 698,497 | 964,911 | 964,911 | — | 964,911 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 1,858 | 1,858 | 1,858 | △1,858 | — |
| 計 | 266,414 | 700,356 | 966,770 | 966,770 | △1,858 | 964,911 |
| セグメント利益又は 損失(△) | △141,064 | 71 | △140,993 | △140,993 | △34,905 | △175,898 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△34,905千円には、のれんの償却額△44,555千円、セグメント間取引
消去9,650千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間において、シーエムジャパン株式会社及びフロント・アプリケーションズ
株式会社を連結子会社とし、「システム開発事業」セグメントに区分しております。

これに伴い、当社が営む事業を「コンサルティング事業」に、東京アプリケーションシステム株式会
社、シーエムジャパン株式会社及びフロント・アプリケーションズ株式会社が営む事業を「システム開
発事業」に、それぞれ区分しております。

なお、前第3四半期連結累計期間において「業務・システム最適化ソリューション事業」及び「シス
テム構築事業」としていた報告セグメントの名称は、それぞれ「コンサルティング事業」及び「システ
ム開発事業」に変更しております。これらの名称変更に伴う報告セグメントの区分の実質的な変更はあ
りません。これに伴い前第3四半期連結累計期間のセグメント情報における報告セグメントの名称を、
変更後の名称で記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年4月にシーエムジャパン株式会社及びフロント・アプリケーションズ株式会社の株式を取得
し、連結の範囲に含めたことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、のれんが28,352千円増加し
ております。

なお、当該のれんの償却額は報告セグメントに配分しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。